

佐久総合病院の協力の元、長野県佐久地方で生活する五人の老人たちの日常を、極力、人為的な手法を排除し、音楽もナレーションもなくただ記録することを主眼として制作、結果として、“老いを生きる”ことが生々しく浮き彫りになった作品。1977年の晩秋と、1978年の早春に私たちは、長野県佐久地方の農村地帯を取材する機会を得た。その際保健

婦さんや、ヘルパーの方々の力ぞえもあって、たまたま何人かの心にのこる老人たちに出会うことができた。短い期間のつきあいであったが、その間にカメラとマイクで記録した老人たちの暮しを、まとめてみたのがこのフィルムである。

監督:小泉修吉/カラー/58分/1979年/グループ現代作品



ドキュメンタリー映画

老いる

5人の記録



『老いる 5人の記録』『ふじ学徒隊』2本立上映

17:40~『老いる』/18:40~『ふじ学徒隊』/19:30~ 野村岳也監督トーク ※中学生以下、大人同伴につき1名無料

かいえんしゃ

海燕社の小さな映画会2018

後援：沖縄県那覇市



日時 2018年6月16日(土) 17:40~(17:15開場) 場所 沖縄県立博物館・美術館 講堂(3F)
料金 1,000円(要予約) 予約/問合せ 098-850-8485/mail@kaiensha.jp(カイエンシャ)

ドキュメンタリー映画

ふじ学徒隊

Fuji Students

監督:野村岳也/カラー/48分/2012年(海燕社)



沖縄戦で動員された女子学徒隊は10校およそ500人。激戦の本島南部では、ほとんどの学徒隊が半数近くの戦死者を出した。そんな中、わずか3名の戦死者にとどまったのがふじ学徒隊。それはなぜか…。1941年、ヘチマ襟の制服を着た積徳高等女学校の1年生の写真がある。

彼女たちは、一度も憧れのセーラー服を着ることなく、三年後、ふじ学徒隊となり、戦場に送り込まれる。大勢の傷病兵が送りこまれ、凄惨な治療看護活動が続いた。戦況が悪化した二ヵ月後、糸満の糸洲壕へ後退する。その一ヵ月後、解散命令が下り…。